

過去一年の日本社會狀勢を省ると實に混沌たるものであつたか此の中に我福岡同業九州聯合會は何等思想的に適まらず健實なる主義を以て産業勵力に對して進んで來た現在日本の情勢は國際非常時の下に軍需インフレに活氣を呈してゐるか永續さしないと首ふ一環の弊しさがある、労働者にも深刻な不安がある事は見逃せない、この重大危機を控へ吾々の運動は労働者の生活向上と人権を養成し産業人としての強い信念を以て進まねばならぬ。

労働階級の生活安定希望を爲すことは日本産業の礎を固くすると思ふ従つて福岡同業は健全なる主義方針の下に統制し國家産業に協力するそこに勤々たる將來があることを確信し今日迄運動を續けて來た。

昨半度位組織其の他の方面に成績を挙げた事はない、組合は

何か問題を起さねばやつて行けない様な一般の觀察が間違つて居た事が解つたのである、吾々は争議が目的ではない組合の陣營を確立し組織の統制を以て日本産業を救済せしめる、處に吾々の救済と希望がある。

労働會館、共済組合、家庭消費組合の確立等の内部的な運動が行はれた事は九州將來の方針を一層確立したと思ふ、加盟組合は夫々内部を充實し重大なる役割を果し成績を修めた事を代議員諸君と共に喜び各加盟組合に感謝す。

混沌たる狀勢に目標を失つた今日九州の方針を示す爲熱と力を以て眞直奮闘し本日の大會を意義あらしめよ。

4、福岡同業聯合會

5、副議長、書記選任（議長二任）

地方出張所長

副議長

元以風木

久休時造